

は じ め に

平成 28 年度は、「滋賀県基本構想」と「滋賀県行政経営方針」に基づき、施策の着実な展開に向けて取り組む、「挑む」予算として、基本構想の基本理念に掲げる「夢や希望に満ちた豊かさ実感・滋賀」の実現に向け「新しい豊かさ」の創造・追求・具現化が図れるよう予算編成に取り組みました。

とりわけ、国や市町と連携しつつ、県民をはじめとする多様な主体との協働のもと、新たに策定した「人口減少を見据えた豊かな滋賀づくり総合戦略」をエンジンとして、「未来に向けて」・「世界に向けて」・「全国に先駆けて」の3つのことに果敢に挑戦することとし、これからの滋賀を担う子どもや若い世代の未来を切り拓くための多子世帯子育て応援事業や、世界へ羽ばたく県内企業を応援するためのウォーターバレー滋賀・水環境ビジネス推進事業、また、滋賀ならではの経験と知恵を生かして行う琵琶湖保全再生計画策定・広報啓発事業などの取組を進めることとしました。

こうした結果、平成 28 年度の当初予算の規模は、3 年連続で 5,000 億円を超え、4 年連続して前年度当初予算を上回りました。

一方で、安定的で持続可能な財政基盤の確立に向けて、引き続き歳入・歳出両面から財政健全化の取組を進めることにも留意し、県債の発行規模の抑制に努めたことから、財政の健全性を示すプライマリーバランスは、3 年連続して黒字を確保し、県債全体に占める臨時財政対策債を除く県債残高の割合についてもこれまでと同様に減少させたところです。

このように県の予算は、県民の皆さんの暮らしに密接にかかわるものであり、本県の財政がどのような状況にあるのか、またどのような運営をしているのかなどを広く知っていただく必要があることから、財政事情として年 2 回（5 月と 11 月）定期的に公表しています。

今回は平成 28 年度予算の概要、平成 27 年度下半期における予算の補正状況やその執行状況、そして公営企業の業務状況などについてご報告するとともに、経年変化で見た県財政の状況や各種財政指標の状況などをお知らせします。

目 次

I 滋賀県財政の動向

1 経年変化で見る滋賀県財政の状況	1
2 財政指標から見た滋賀県財政	10
3 財政健全化に向けた取り組み	12

II 一般会計および特別会計の状況

1 平成 28 年度予算の概要	14
(1) 当初予算編成の背景	14
(2) 当初予算編成の基本方針	15
(3) 当初予算の規模等	16
(4) 当初予算のポイント	18
(5) 一般会計当初予算の内容	25
(6) 特別会計当初予算の状況	32
2 平成 27 年度下半期の財政状況	33
3 収益事業の経営状況	37

III 公営企業の業務状況

1 病院事業の業務状況	38
2 工業用水道事業の業務状況	42
3 水道用水供給事業の業務状況	46

IV 健全化判断比率および資金不足比率の概要

1 健全化判断比率および資金不足比率の概要	51
-----------------------	----

付 表	55
-----	----
